
コホート内患者対照研究における
最適な対照選択法の開発

17500183

平成 17 年度～平成 18 年度科学研究費補助金
(基盤研究(C)) 研究成果報告書

平成 19 年 3 月

研究代表者 藤 井 良 宜
宮崎大学教育文化学部助教授

<はしがき>

本研究においては、コホート内患者対照研究のデザインを研究対象とし、コホートの特徴や研究の目的に合わせた最適な対照選択デザインの開発を目的としていた。これまでの研究によって、主要な原因因子（以下、曝露因子とよぶ）の影響の推定効率および曝露因子とその他の因子との交互作用の推定効率を考えた場合にカウンターマッチング法が一定の効果があることを確認した。また、カウンターマッチング法の解析方法である部分尤度法に代わってペアワイズ推定法を提案することによって、より柔軟な対照選択デザインに対しても対応できることを明らかにした。

研究組織

研究代表者：藤井良宜（宮崎大学教育文化学部助教授）

研究分担者：ジョン コローン（放射線影響研究所，統計部副部長）

研究分担者：中尾裕之（保健医療科学院，研究員）

交付決定額（配分額）

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
平成 17 年度	2,100,000	0	2,100,000
平成 18 年度	1,200,000	0	1,200,000
総計	3,300,000	0	3,300,000

研究発表

(1) 学会誌等

現在投稿中

(2) 口頭発表

Y. Fujii, Estimation for departure from Hardy Weinberg equilibrium, The international symposium on Biostatistics in Hisayama, 2006 年 2 月 14 日

H. Nakao and Y. Fujii Risk assessment of the mixture of chemicals with missing and interval measurements such as dioxins or PCBs. International Biometrics conference, 2006 年 7 月 20 日

藤井良宜 Pairwise 推定関数による統計的推測, 日本数学会春季大会, 2007 年 3 月 29 日

(3) 出版物

研究成果による工業所有権の出願・取得状況
特になし

本研究の研究報告として、以下の5つの資料をまとめる。

資料1：サンプリングデザイン：カウンターマッチング

資料2：1:m counter-matched design in nested case control study

資料3：pairwise 推定関数による統計的推測（発表資料）

資料4：Estimation for departure from Hardy Weinberg equilibrium（発表資料）

資料5：Risk assessment of the mixture of chemicals with missing and interval measurements such as dioxins or PCBs.（発表資料）